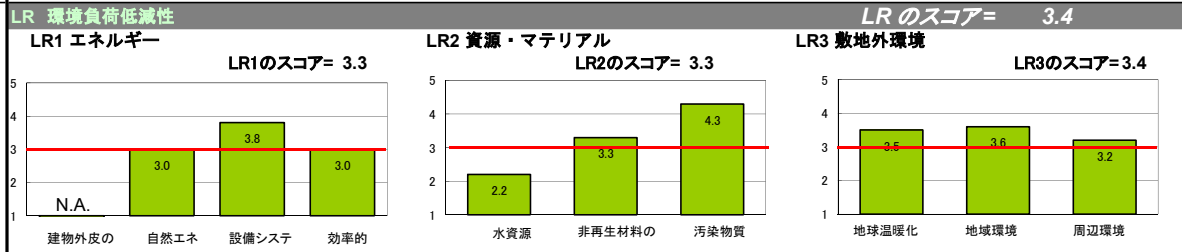
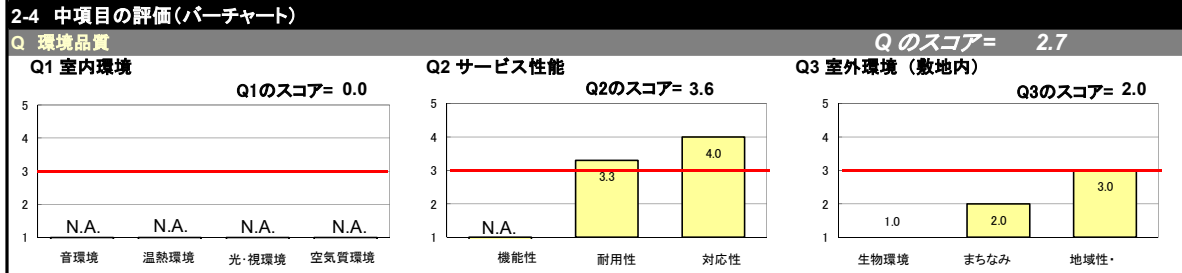
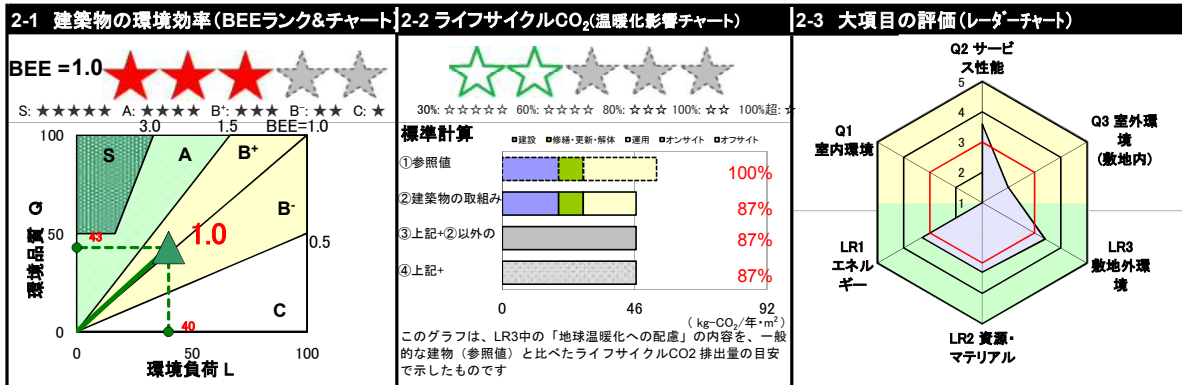


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小牧下小針中島物流センター	階数	地上2階
建設地	愛知県小牧市下小針中島3丁目261	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	26人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,880時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年9月2日
敷地面積	8,167 m <sup>2</sup>	作成者	瀬古好美
建築面積	3,160 m <sup>2</sup>	確認日	2018年9月2日
延床面積	4,729 m <sup>2</sup>	確認者	瀬古好美



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.5</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.5</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています



<b>3 対応性・更新性</b>				4.0	0.48					4.0	
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31						
1 階高のゆとり			倉庫階高4.23m、事務所階高4.28m	5.0	0.60						
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率0.14	4.0	0.40						
3.2 荷重のゆとり			3.900N/m <sup>2</sup>	4.0	0.31						
3.3 設備の更新性				3.6	0.38						
1 空調配管の更新性		②	構造部材を痛めることなく修繕・更新可能。	3.0	0.17						
2 給排水管の更新性				4.0	0.17						
3 電気配線の更新性				3.0	0.11						
4 通信配線の更新性				3.0	0.11						
5 設備機器の更新性				4.0	0.22						
6 バックアップスペースの確保				4.0	0.22						
			建物機能を維持したまま更新・修繕可能。 バックアップスペースを確保。	4.0	0.22						
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57					2.0	
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30					1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40					2.0	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				3.0	0.30					3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50						
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50						
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										3.4	
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40					3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制					-					-	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28					3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI=0.72 LED照明の採用	3.0	0.43					3.8	
4 効率的運用				3.0	0.29					3.0	
集合住宅以外の評価				3.0	1.00					-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50					-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50					-	
集合住宅の評価					-					-	
4.1 モニタリング					-					-	
4.2 運用管理体制					-					-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30					3.3	
1 水資源保護				2.2	0.15					2.2	
1.1 節水				1.0	0.40					-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60					-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67					-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33					-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63					3.3	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07					-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24					-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.20					-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生砕石・基礎、地中梁、外構舗装等の路盤	3.0	0.20						-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05					-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体+塗装仕上、鉄骨ボルト接合	5.0	0.24					-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.22					4.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆使用	5.0	0.32					-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68					-	
1 消火剤				-	-					-	
2 発泡剤(断熱材等)			ノンフロンタイプを採用。	5.0	0.50					-	
3 冷媒				3.0	0.50					-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30					3.4	
1 地球温暖化への配慮		①	排出率84%	3.5	0.33					3.5	
2 地域環境への配慮				3.6	0.33					3.6	
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25					-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50					-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25					-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25					-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25					-	
3 交通負荷抑制		独自	乗用車、搬出入車駐車を確保。車両動線を考慮した計画。 廃棄物処理委託	5.0	0.25					-	
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25					-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33					3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40					-	
1 騒音		独自		3.0	0.50					-	
2 振動		独自		3.0	0.50					-	
3 悪臭				-	-					-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40					-	
1 風害の抑制				3.0	0.70					-	
2 砂塵の抑制				-	-					-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30					-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20					-	
1 屋外照明及び屋内照明のつち外に漏れる光への対策			専門家による検討体制のほか過半を満たしている。	5.0	0.70					-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30					-	

**重点項目スコアシート**

(仮称)小牧下小針中島物流センター

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.5</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.0	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)小牧下小針中島物

計画上の配慮事項	
総合	地球環境負荷の低減に取り組んだ。
Q1 室内環境	屋根、外壁に断熱材を使用し、外皮性能の向上に配慮した。 化学汚染物質含有材料の使用を回避した。
Q2 サービス性能	ゆとりのある空間とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。 耐震性能は建築基準法に定められた耐震性を有するものとした。
Q3 室外環境(敷地内)	建物外部には視線を遮るような樹木を配置しない等、防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	高効率な照明器具を採用し、エネルギーの削減を図った。
LR2 資源・マテリアル	鉄骨現し部の仕上を塗装とする等、部材の再利用可能性の向上に配慮した。
LR3 敷地外環境	駐車場を確保し、交通負荷抑制に配慮した。
その他	特になし。